



2018年8月9日

各 位

会 社 名 ダブル・スコープ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 崔 元 根  
(コード番号 6619 東証第一部)  
問合せ先 取締役戦略企画本部長  
大内 秀雄  
(TEL 03 - 5436 - 7155)

## 中期経営計画『Vision 2021』策定に関するお知らせ

ダブル・スコープ株式会社(以下、WS)では、2017年8月公表の中期経営計画を更新し、2021年12月期までの中期経営計画『Vision 2021』を策定いたしましたので、概要を以下のとおりお知らせいたします。

この中期経営計画更新の目的は、当社の主要顧客各社の電気自動車用リチウムイオン電池生産が東アジア及び欧米において大幅な増産計画が推進される中、中長期的な需要も高まっており、これに照らし合わせた中期の販売計画及び設備投資計画を具体化し、事業の成長性をより明確にするためのものです。

### 記

#### 1. ビジョン

メンブレンフィルム専門メーカーとして、リーディングカンパニーを目指します。

#### 2. 成長への基本戦略

##### ① リチウムイオン電池セパレータ事業

2015年以降 スマートフォン用途等の民生用電池市場の安定成長に加え、中国のxEV用途で成長速度を上げた リチウムイオン電池市場は2018年までの3年間で約2倍の市場規模に成長しました。今後更に各国の環境対策にも後押しされ、2021年までの3年間に2018年比およそ2倍の市場規模にまで成長する見通しとなっております。

このような市場見通しの中、リチウムイオン電池主要部材メーカーとして以下の成長戦略を実行します。

- 市場の拡大に伴う生産能力の拡大
- 大型製造ラインによる生産性の追求
- 製造原価低減へのチャレンジ
- 電気自動車の安全性を担保する高品質の維持

##### ② 新規事業への取り組み

当社の事業はリチウムイオン電池用セパレータの単一セグメントとなっておりますが、当社の保有する生産技術は基本的にはメンブレンフィルムの製造技術です。この技術を応用し、今後更に以下の様なセグメントに取り組むべく製品開発を続けて参ります。

- エネルギー関連用途：次世代電池・キャパシタ等
- 水関連用途：イオン交換膜、水処理フィルタ等
- 空調関連用途：不可逆フィルタ等
- 医療用途：透析膜、人口皮膚等

#### 3. 設備投資計画

当社では大韓民国忠清北道吾槍市の製造子会社 W-Scope Korea (WSK) 3区画の工場用地にて既にセパレータ量産ライン9本が稼働中であり、コーティングラインも4本が稼働中、更に2本が据え付け工事中であり追加で4本の投資決定(2020年上期稼働開始予定)をしております。

さらに、同忠州市の製造子会社 W-Scope Chungju Plant (以下、WCP) では2本の大型セパレータ量産ラインが稼働を始めており、2019年下期には更に2本の大型セパレータ量産ラインの量産開始を計画しております。

WCPには今後も成膜ライン及びコーティングラインの投資を継続する計画です。

#### 4. 計数目標 (連結ベース)

単位：百万円

	2017年 12月期(実績)	2018年 12月期(予想)	2019年 12月期(計画)	2020年 12月期(計画)	2021年 12月期(計画)
売上高	9,517	9,100	15,000~20,000	22,000~30,000	38,000~48,000
営業利益	274	△2,400	100~3,500	800~6,900	7,000~15,000

※2019年からの先進国車載向けは1案件当たりの販売量が大量であり、販売スケジュールが遅延した場合に、売上高が大きく変動することから、売上高見通しをレンジで表示しております。

前提条件

円対1米ドル	112.1	上期実績 108.7 下期予想 110	108
円対1,000ウォン	99.2	上期実績 101.1 下期予想 100	98.2
ウォン対1米ドル	1,131	上期実績 1,075 下期予想 1,100	1,100

本資料に記載されている将来の業績に関する予想、計画等は現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

以 上